

はじめに

情報メディアセンター長 岩田 員典

本年度も愛知大学情報メディアセンター紀要 COM47 号を無事発刊できました。お忙しい中投稿していただいた執筆者の方々をはじめ、編集委員や発刊に関わっていただいた方々にお礼を申し上げます。今号は大学院生からの投稿も含め全4件となっております。多くの方々にご愛読いただければ幸いです。

さて、昨年末から米国 IT 企業における大量解雇がニュース等で大きく報じられています。メタは1万1000人以上、Amazonは1万人の人員削減を発表しました。また、Googleも1万人を解雇する予定のようです。さらに、Twitterはイーロンマスク氏による買収後に社員の半数に当たる約3,700人を解雇しました。これらの大手IT企業などは新型コロナウイルスが広まった2020年から「巣ごもり需要」で大きく業績を伸ばし、それに伴い多くの人を雇うだけでなく、人員の確保のため賃金を上げたことが影響しているようです。また、各企業がネット広告への費用を絞り込んだことも関係していると考えられます。経営上の判断とは言え現時点でのこのような大量解雇は、将来のIT分野の成長を阻害する恐れがあると言われていています。一方、日本のIT業界はどうでしょうか？先日、IT企業の方にお話を伺う機会がありました。そこで聞いたのは、とにかくIT関連の人材が不足しており、文系出身でもIT関連に興味があれば是非就職先として検討して欲しいとのことでした。本学は学部としては文系しかありませんが、共通教育科目などを通じてITについて学ぶ機会はいろいろと用意されています。これらの授業と情報メディアセンターの活動により、これからの時代に必要とされる人材を育てていければ思っております。

最後になりましたが、早いもので、2022年9月30日を以て情報メディアセンター所長の第2期目の任期を終えることができました。1期目の途中から新型コロナウイルスが始まり、あっという間に2期4年が経過したように感じます。その間至らぬ点多かったと思いますが、皆様のおかげでなんとか乗り切ることが出来ました。通例では2期で交代となることが多いようですが、未だに続いている新型コロナウイルスのこともあり、力不足ながら引き続き情報メディアセンター所長を務めさせていただくことになりました。今後も事務スタッフやICT委員の皆さんの御協力を得ながら努めて参りたいと思っております。よろしく願いいたします。

¹ ただし、IT関連企業の労働条件（特にアメリカなどに比べて低い賃金）が改善されていかないと、人材の確保は難しいといえる。